

釣れない時のグチを聞いてください

東関東支部 菅原 博文

近年赤虫での釣果がほとんど見られなくなりました。釣れなくなったため、釣り人の姿もほとんど見られなくなりました。北浦・鹿行大橋より上流部での赤虫釣りのメッカと言われた 高田・安塚近辺での釣果もほとんど見られなくなり、人もいなく、とてもさみしいです。コイヘルペスのせい、ポイントの場荒れか地球の温暖化か、いずれにしても釣れなくなりました。冬場のコイの追い込み漁の漁師さえも見なくなりました。山田ワンド内で1艘見かける程度です。ポイントに杭が打ち込まれたり、護岸が整備され蛇籠(ジャカゴ)が入れられたり、ブイなどが入っていてサオを出せるポイントがなくなったことも釣れなくなった理由のひとつかもしれません。

例年だと雪の日とか、車のドアが内側から開かなくなるほど冷え込んだ日などはよく釣れた ものです。寒暖差の大きい年ほどよく釣れました。近年は冷え込む日が少なくなりました。

アオコが発生した年は、冬場によく釣れました。アオコが発生しても、雨・台風の多い年に は一時的にせよアオコの密度が緩和されるせい、冬場は釣れませんでした。水底へ沈殿するアオコの量が少なくなるためなのかも？

夏場によく「アオコが大発生して、釣りにならなくなる」という現象は、昭和53年をピークに減少してきています。平成10年では1/10。アオコに換わって発生しているのは、オシロトリア、フォルミディウム、植物プランクトンなど水道水がカビ臭くなる原因とされている物質です。

これからの赤虫釣りは、今までサオを出したことの無い新規のポイント開拓が必要なのではないでしょうか。(底がヘドロのポイント)

それにしても赤虫での釣果は落ちており、釣りに行く気が起きません。年々、釣行回数が減ってきています。私の知り合いなどはコイヘルペスが騒がれ始めてからも1年中釣りをしていますが、キズのついた鯉は川に戻さず陸の上にあげています。キズ鯉を殖やしたくないため だそうです。



北浦・高田付近 (編集室挿入)